

2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月15日

上場会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2884 URL <https://www.y-food-h.com/>
 代表者 （役職名）代表取締役CEO （氏名）吉村 元久
 問合せ先責任者 （役職名）取締役CF0 （氏名）安東 俊 TEL 03(6206)1271
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 （当社ウェブサイトにて、決算説明の動画配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	13,976	△4.3	349	△50.0	406	△34.5	557	95.0
2026年2月期第1四半期	14,600	△0.1	700	△37.8	620	△50.9	286	△51.8

（注）包括利益 2027年2月期第1四半期 851百万円（514.9％） 2026年2月期第1四半期 138百万円（△86.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	23.36	—
2026年2月期第1四半期	12.00	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	66,094	20,105	19.7
2026年2月期	61,028	19,253	20.4

（参考）自己資本 2027年2月期第1四半期 13,041百万円 2026年2月期 12,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、通期は対前期）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,500	0.0	2,000	27.5	1,700	0.5	1,400	52.4	58.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期1Q	24,083,371株	2026年2月期	24,083,371株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	208,885株	2026年2月期	208,885株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年2月期1Q	23,874,486株	2026年2月期1Q	23,836,270株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や賃上げの動きが継続したことにより、緩やかな持ち直しがみられました。一方で、物価上昇の長期化により生活コストの高止まりが続き、消費者の節約志向は依然として根強く、個人消費の回復は緩やかなものにとどまりました。また、海外経済の減速懸念や地政学的リスクの長期化、各国の金融政策や通商政策の動向に伴う金利・為替の変動などにより、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、原材料価格やエネルギー価格、物流費、人件費等が引き続き高水準で推移したことに加え、為替変動の影響による仕入コストの上昇圧力も継続し、厳しい事業環境となりました。また、物価上昇を背景とした消費者の生活防衛意識の高まりにより、低価格志向が強まる一方で、品質や付加価値を重視する動きもみられるなど、消費動向は多様化しております。

このような状況下において当社グループは、「いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ」というミッションのもと、「中小企業支援プラットフォーム」による傘下企業の業績向上支援、国分グループ本社株式会社との協業、ならびにM&A案件の検討および実行を推進してまいりました。また、各子会社における原価上昇への対応、販売価格の適正化、生産効率の改善、棚卸資産管理の強化、海外事業の収益改善およびグループ全体の経営管理体制の強化に取り組むことで、中長期的な企業価値の向上に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、ホタテ関連事業は減収減益となった一方、国内の非ホタテ関連事業は増収減益、海外事業は増収増益となりました。

その結果、売上高は13,976,414千円（前年同期比4.3%減）、営業利益は349,997千円（同50.0%減）、経常利益は406,420千円（同34.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は557,787千円（同95.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 製造事業

製造事業は、国内並びにシンガポールおよびマレーシアにおいて、食品および厨房機器等の製造をおこなう30社で構成されております。

国内における非ホタテ関連事業（マルキチおよびワイエスフーズグループ以外のホタテに関連しない事業）は、原材料・エネルギー価格や物流費の高騰を受けて価格改定を進めた結果、増収となったものの、コスト上昇に対する価格改定の効果が表れるまでにタイムラグが生じたことから、小幅な減益となりました。一方、ホタテ関連事業（マルキチおよびワイエスフーズグループのホタテ関連事業）は、噴火湾における漁獲量の減少に伴い原料販売が減少したことに加え、一部の海外向け製品（冷凍貝柱）の販売が第2四半期にずれ込んだことにより、減収減益となりました。

海外においては、EXAMAS JAYA SDN. BHD. およびEQUIPMAX PTE. LTD. の連結開始に伴う増収効果に加え、シンガポールにおける外食・ホテル向けおよび小売店向けの販売が回復したことから、増収増益となりました。

その結果、売上高は11,152,850千円（前年同期比8.4%減）、利益は497,899千円（同44.9%減）となりました。

② 販売事業

販売事業は、国内およびシンガポールにおいて、食品卸売および商品企画をおこなう4社で構成されております。

国内においては、仕入価格の高騰や運賃等のコスト増加による厳しい経営環境が続くなか、既存販売先への販売強化に努めた結果、増収増益となりました。

海外においては、スーパー等の小売店向けおよび飲食店向けの販売が回復したことにより、増収増益となりました。

その結果、売上高は2,764,327千円（前年同期比16.3%増）、利益は108,758千円（同262.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は66,094,914千円となり、前連結会計年度末に比べて5,066,472千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加3,314,366千円、棚卸資産の増加2,591,810千円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少914,306千円などがあったことによるものです。

負債は45,989,762千円となり、前連結会計年度末に比べて4,214,586千円増加しました。これは主に、借入金等の増加4,356,751千円があったことによるものです。

また、純資産は20,105,151千円となり、前連結会計年度末に比べて851,886千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加557,787千円、非支配株主持分の増加232,981千円、および為替換算調整勘定の増加92,157千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の連結業績予想につきましては、2026年4月15日付「2026年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,002,107	14,316,474
受取手形、売掛金及び契約資産	9,757,261	8,842,955
商品及び製品	12,864,730	14,533,710
原材料及び貯蔵品	2,076,400	2,999,230
その他	1,487,156	1,677,421
貸倒引当金	△249,597	△253,401
流動資産合計	36,938,058	42,116,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,927,780	5,885,883
機械装置及び運搬具（純額）	1,660,510	1,628,456
その他（純額）	3,809,042	4,236,586
有形固定資産合計	11,397,332	11,750,926
無形固定資産		
のれん	6,261,876	6,092,368
顧客関連資産	3,645,163	3,554,011
その他	109,081	101,903
無形固定資産合計	10,016,121	9,748,284
投資その他の資産		
その他	2,702,757	2,505,141
貸倒引当金	△25,828	△25,828
投資その他の資産合計	2,676,928	2,479,312
固定資産合計	24,090,382	23,978,523
資産合計	61,028,441	66,094,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,214,858	3,847,392
短期借入金	8,249,649	11,443,346
1年内償還予定の社債	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	5,473,433	7,217,065
未払法人税等	770,075	709,234
未払消費税等	183,630	172,377
賞与引当金	402,765	457,799
その他	2,546,587	2,784,339
流動負債合計	22,040,999	26,631,555
固定負債		
長期借入金	17,126,119	16,745,542
退職給付に係る負債	82,843	85,076
その他	2,525,213	2,527,588
固定負債合計	19,734,176	19,358,207
負債合計	41,775,176	45,989,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,527	1,176,527
資本剰余金	2,036,610	2,036,610
利益剰余金	7,545,829	8,103,617
自己株式	△167,712	△167,712
株主資本合計	10,591,255	11,149,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	159,166	128,126
為替換算調整勘定	1,671,844	1,764,001
その他の包括利益累計額合計	1,831,011	1,892,128
非支配株主持分	6,830,998	7,063,980
純資産合計	19,253,264	20,105,151
負債純資産合計	61,028,441	66,094,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	14,600,285	13,976,414
売上原価	11,576,161	11,035,707
売上総利益	3,024,123	2,940,707
販売費及び一般管理費	2,324,007	2,590,709
営業利益	700,116	349,997
営業外収益		
受取賃貸料	23,664	24,066
受取補償金	549	223
補助金収入	31,253	40,406
投資有価証券売却益	—	66,763
為替差益	3,815	57,499
その他	21,095	24,356
営業外収益合計	80,379	213,315
営業外費用		
支払利息	96,079	147,273
支払手数料	60,166	249
その他	4,105	9,369
営業外費用合計	160,352	156,892
経常利益	620,143	406,420
特別利益		
固定資産売却益	1,145	444
受取補償金	156,084	880,488
その他	—	960
特別利益合計	157,229	881,892
特別損失		
固定資産除却損	380	863
特別損失合計	380	863
税金等調整前四半期純利益	776,992	1,287,450
法人税、住民税及び事業税	299,207	562,437
法人税等調整額	82,137	2,413
法人税等合計	381,345	564,851
四半期純利益	395,647	722,598
非支配株主に帰属する四半期純利益	109,611	164,811
親会社株主に帰属する四半期純利益	286,036	557,787

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	395,647	722,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,189	△44,204
為替換算調整勘定	△260,283	173,496
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△4
その他の包括利益合計	△257,098	129,287
四半期包括利益	138,549	851,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,929	618,904
非支配株主に係る四半期包括利益	41,619	232,981

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	製造事業	販売事業	その他事業	計		
売上高						
日本国内	10,196,595	1,814,648	3,439	12,014,682	—	12,014,682
シンガポール	1,590,236	561,340	—	2,151,577	—	2,151,577
その他海外	394,737	—	—	394,737	—	394,737
顧客との契約から生じる収益	12,181,569	2,375,988	3,439	14,560,997	—	14,560,997
その他の収益(注) 3	—	—	39,287	39,287	—	39,287
外部顧客への売上高	12,181,569	2,375,988	42,726	14,600,285	—	14,600,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	65,766	114,980	26,845	207,592	△207,592	—
計	12,247,336	2,490,969	69,571	14,807,878	△207,592	14,600,285
セグメント利益又は損失 (△)	903,621	29,998	△43,708	889,911	△189,794	700,116

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等であります。なお、これには、在外連結子会社が適用している国際財務報告基準(IFRS)第16号「リース」に基づく収益が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	製造事業	販売事業	その他事業	計		
売上高						
日本国内	8,458,012	1,927,818	4,748	10,390,579	—	10,390,579
シンガポール	1,853,298	836,509	—	2,689,808	—	2,689,808
その他海外	841,539	—	—	841,539	—	841,539
顧客との契約から生じる収益	11,152,850	2,764,327	4,748	13,921,927	—	13,921,927
その他の収益(注) 3	—	—	54,486	54,486	—	54,486
外部顧客への売上高	11,152,850	2,764,327	59,235	13,976,414	—	13,976,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	85,479	104,182	73,071	262,733	△262,733	—
計	11,238,330	2,868,510	132,307	14,239,148	△262,733	13,976,414
セグメント利益又は損失 (△)	497,899	108,758	△4,332	602,325	△252,327	349,997

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等であります。なお、これには、在外連結子会社が適用している国際財務報告基準(IFRS)第16号「リース」に基づく収益が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	373,282千円	408,631千円
のれんの償却額	194,730千円	206,256千円